

「山菜の季節」

高岡教区 長光寺 住職 織田隆夫



除染作業の様子

今年も山菜の季節がめぐってまいりました。三月はフキノトウ、こごみ、四月に入りタラノメ、ぜんまい、五月に入りわらび、タケノコと私達をワクワクさせてくれるのが春の恵み山菜です。その間、田んぼではあらい起し水張り種籾の準備そして田植えと、急に忙しい季節となります。

私達は春一番にまだ動かぬ体をならすために山の幸を取りに行きます。雪の間から顔を出し始めたフキノトウを食し、あの苦い味から真つ先に春を

2014年
(平成26年)
5月31日

五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派
高岡教区五位組

題字・織田隆夫

感じ、そろそろ畑や田んぼの準備をしなければと思います。こごみやタラノメの頃には田んぼに出始め用水のイザライを行いあら起しを始め、ぜんまい・わらび・タケノコの頃には朝早くから暗くなるまで田植えに精を出し、疲れて家に帰ればワラビのお浸しや昆布と煮た柔らかいタケノコが食卓に並んでいる、それが農家の春を迎える姿なのでしょう。

福島県飯館村の方々もあの震災前、東京

電力第一原発が放射能を世界に撒き散らす前までは私達と同じ様に山の恵みに支えられ山菜を食し春を迎えておりました。しかし今は、飯館村をはじめ福島県内の山々には誰にも摘んでもらえぬタラノメやワラビやタケノコで溢れています。その傍らを政府より委託された五次六次下請けの方々が白い防護服をまとい先の見えない除染作業を行っております。

この三年三ヶ月で、除染された面積は福島県全体の5%に過ぎません。また福島県の七十一%が森林であり、放射線医学総合研究所の市川龍資元副所長は「放射性物質は木の葉に付着しやすく、葉が落ちてできる腐葉土に蓄積される傾向がある、福島県飯館村のような周囲が山々に取り囲まれた盆地のような地形では、時間の経過とともに、ますます線量は高くなります。山菜、キノコ等は放射性物質を蓄積しやすく注意せねばなりません」と言われております。



高岡で採れた山菜を福島へ

福島の時間はあの日から止まったままなのです。避難先の仮設住宅ではなおさらです。雪が解けても、雨が降っても、暑い夏の太陽も、秋の枯葉も、生きがいや生活のリズムにはなりえずただ時だけがうつろに過ぎていきます。でも生きなければと人々は必死にもがいているのです。

放射性物質セシウム一三七の半減期は三十年です。私自身も、いま仮設住宅で暮らしている飯館村の人々も後三十年間生きられるのかは解りません。しかし私達は春の香りを送り続けたいと願っております。大地は私達に平等の恵みと喜びを与えてくれるはずですから。その大きな恵みと喜びを妨げているのが私達のエゴイズムと欲望に他ならないからこそ、この大地から放射能という欲望の汚物が消えるまで戦い続けなければなりません。それが如来からの呼び声ならば……。

飯館村の方々に五位組の山菜を！

磯原山

光明寺

高岡市 佐加野

自坊紹介



写真右…光明寺全景
写真左…会合の様子

佐加野の光明寺は、五位組の川西(左岸)では一番北に位置します。私が初めて組の会合や法要に出た頃は、砂利道を自転車に乗り、往きか帰りのいずれかでも向かい風を受け、やつとペダルを踏んで寺に着いたことをよく覚えていました。

歴代住職の法名軸から数えると、私は七代目になります。歴史は定かではありませんが、一八〇〇二百年前に先祖がこの地に来たものと考えられます。元この地にあった関野組の光慶寺さんが高岡開町後、移転され、在所に心の依り所であり念仏申す仲間が集う寺のない寂しい時代がしばらくあったと推察されます。こんな大きな村に寺がないのはとてもあいそんないということ、私の先祖が村の墓所であった地に迎えられると思われます。そして、近郷の方々の御懇念により、小さいながらもバランスの整った本堂が建立され、今日に至っています。

しかしながら、約二百年を経て、近年は老朽化が激しく、今年から新しい本堂へと改築工事に取りかかることになりました。明後年には、時代にそった新しい本堂になりますので、皆様御来寺くださいますことを心より御待ち申し上げます。

五位組第十期連研を終えて

山岸 智史

昨年八月をもって五位組第一〇期連続研修会(以下、連研)が終了しました。この連研は、講師が一方的に受講者に話をするという講義形式ではなく、問題提起を受けて受講者が自らの思いを語っていくという話し合い法座を中心にして進められました。その話し合い法座の中で出てきた声を紹介します。「自分に何ができるのか、課題と疑問を与えられたような気がする」

する」

「みんながそうしているから」と黙っているのではなく、自分で考えて生きるようになつた」

他にも色々な声がありました。今回は特にこの二つが印象に残りました。念仏者として見過ごす

ことのできない社会の問題を自らの問題として背負っていくことが念仏申す歩みです。課題と疑問を持つことが教えに学ぶということでしょう。さらには、その社会の問題に関して世の中の流れが教えます

(次のページに続く)

は逆の方向に進むことは多々あることです。まさに「みんながそうしているから」と黙っているのではなく、「これでいいのだろうか」と自分で考えて生きることが大切です。

仏教徒・念仏者として生きるということは、自立した道を歩むことです。そして、そんな自分や社会を問うよりどころとなるのがお念仏の教えです。ですから、研修(教えを聞く)とは単なる知識習得ではありません。今回の研修において先のような声が出てきたのは大きな成果と言えるでしょう。

もちろん、十二の問いの設定や僧侶の出席率など、課題も多くあります。それらは、色々な方々の意見を聞きながら、次期に向けて克服していきたいと思えます。

次期連研は来年の三月から始まる予定です。年末あたりから受講者を募集しますので、是非ともご参加ください。



祠堂経法座ご案内

各寺院の祠堂経法座の日程をお知らせします。

笹川 廣済寺

六月三日 朝 九時三十分 昼 二時
六月四日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市内島 岡西 法英 師

内島 教願寺

六月十日 昼 二時
六月十一日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 富山市水橋 石川 了英 師

四日市 浄明寺

六月十四日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 高岡市伏木 山名 一徳 師

麻生谷 西光寺

六月二十日 朝 九時三十分 昼 二時
六月二十一日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 氷見市布施 圓山 望 師

上向田 浄永寺

六月二十一日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 射水市市井 公文名 眞 師

石堤 長光寺

七月一日 昼 二時
七月二日 朝 九時三十分 昼 二時
七月三日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 福岡町土屋 山岸 智史 師

赤丸 性宗寺

七月六日 朝 九時三十分
法話 福岡町大野 新原 忠男 師

辻 西福寺

七月七日 昼 二時
七月八日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 射水市朴木 青木 哲隆 師

三日市 光源寺

七月九日 昼 二時
七月十日 昼 二時
法話 高岡市戸出六十歩 林 要昭 師

立野 永念寺

八月二日 昼 二時
八月三日 朝 九時三十分 昼 二時
法話 未定

山岸 珉照寺

八月二十三日 昼 二時三十分
八月二十四日 朝 十時 昼 二時三十分
法話 小矢部市興法寺 立川 証 師

どうぞお誘い合わせの上、お参りください。
お斎等の詳細については、
各寺院にお問い合わせください。

黎明講座ご案内

各寺院の黎明講座の日程をお知らせします。どうぞお誘い合わせの上、お参りください。
詳細は、各寺院にお問い合わせください。

山岸 珉照寺

七月二十八日 朝 五時三十分～六時三十分
七月二十九日 朝 五時三十分～六時三十分
七月三十日 朝 五時三十分～六時三十分

三田市 光源寺

七月三十一日 朝 五時三十分～六時三十分

笹川 廣濟寺

七月三十一日 朝 五時三十分～
八月一日 朝 五時三十分～

石堤 長光寺

八月一日 朝 五時三十分～六時三十分
八月二日 朝 五時三十分～六時三十分
八月三日 朝 五時三十分～六時三十分

内島 教願寺

八月十三日 朝 五時三十分～
八月十四日 朝 五時三十分～
八月十五日 朝 五時三十分～
正信偈、法話四十五分、
十五日には戦没者追悼法要

◆◆◆ 五位組行事予定 ◆◆◆

夏休み子ども大会

二〇一四年
八月一日（金）九時
善教寺



両講合同夏期研修会

二〇一四年
八月五日（火）十三時
こぶし荘

ビハークラ研修会

二〇一四年
十月八日（水）十九時
長光寺

編集後記

昨年は第一〇期五位組
連研も無事に十二名の方が
修了され、今後も門徒推進
員として活躍されることを
目指されたいと願います。
今回で第八号の発刊にな
り、さらに充実した内容に
努力することを編集者一同
心掛けていきたいと思いま
す。また、今年も年二回の
発行を予定していくことで、
念仏に出遇うきっかけにな
り、益々多くの人が「念仏申
す人生を歩む」ことができ
ばと思います。

合掌



プロライダーによるBMXショー

昨年の五位組夏休み子ども大会の様子